

広島県採用選考試験

受験案内

平成 28 年 9 月 7 日

広島県総務局人事課

この採用試験は、広島県立美術館において、日本画（近・現代）を専門分野として、学芸業務に従事していただく人を採用するために実施するものです。
学芸員としての多様な経験や専門知識を有し、魅力的な美術館づくりの実現に向けて意欲あふれる人材を求めています。

《求める人物像》

それぞれの専門分野における専門知識や経験をもって、所蔵作品の調査・研究や展覧会の企画立案・運営に自らが意欲的に取り組み、広島県立美術館の魅力向上・活性化に貢献できる人

- 受付期間 平成 28 年 9 月 7 日（水）～平成 28 年 10 月 6 日（木）
▽郵送の場合 平成 28 年 10 月 6 日（木）までの消印有効
▽持参の場合の受付時間 午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分（土・日・祝日を除く。）
- 第 1 次試験 平成 28 年 10 月 16 日（日）
- 第 2 次試験 平成 28 年 11 月 13 日（日）

1 職種、専門分野、採用予定人員及び勤務先

職 種	専門分野	採用予定人員	勤務先
学芸員	日本画（近・現代）	1 名	広島県立美術館

2 受験資格（国籍要件はありません。）

- (1) 昭和 31 年 4 月 2 日以降に生まれた者
- (2) 博物館法（昭和 26 年法律第 285 号）に定める学芸員資格を有する者又は平成 28 年 12 月 31 日までに学芸員資格を取得する見込みの者。もし資格を取得できない場合は正式採用される資格を失います。
- (3) 次のいずれかに該当する場合は、受験できません。
 - ア 成年被後見人、被保佐人（準禁治産者を含む。）
 - イ 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
 - ウ 広島県の機関から懲戒免職処分を受け、その処分の日から 2 年を経過しない者
 - エ 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

3 提出書類及び受験申込先

(1) 提出書類

- 履歴書 1部
市販（JIS規格）のものに自筆で詳細に記入し、最近3ヵ月以内に撮影した正面向き、脱帽、上半身の写真を貼ってください。（本籍地の記入は不要です。）
 - ・現住所、郵便番号及び電話番号は必ず記入してください。
 - ・履歴書の上部余白に「選考試験申込（学芸員）」と朱書してください。
- 研究実績（発表を含む。）、調査歴、実務歴等に関する経歴書
当該分野に関する研究実績、調査歴、実務歴等について、以下の様式例に従い、必要な項目について記入した経歴書を作成して提出してください。
- 代表的な研究実績、主要論文等の写し（コピー）1編

【様式例】

全てのページに記入すること

研究実績（発表を含む。）、調査歴、実務歴等に関する経歴書

氏名 _____ （ 枚目 / 枚中）

1 研究実績（卒業論文、修士論文、書籍・学術誌等の編さん・執筆等を含む。）

- ① 論文等名称 ※書籍等の場合は分担部分の名称
- ② 作成年月
- ③ 所収先（書籍、学術誌等）
- ④ その他（書籍、学術誌等への参画の形）

2 調査歴

- ① 調査の名称
- ② 調査主体
- ③ 調査責任者の職・氏名
- ④ 調査期間
- ⑤ 参画の形（主任調査員、調査員、調査補助員等）
- ⑥ 調査内容

3 実務歴（非常勤的任用、インターン等を含む。）

- ① 美術館、所属団体等名称
- ② 実務内容
※展覧会開催実績がある場合は、展覧会名、会場名、開催年、担当業務内容[どのような立場（職名、常勤・非常勤の別等）でどのような業務を担当したか]を記載すること。
- ③ 実施期間
※職歴（勤務場所及び勤務期間）は履歴書の職歴欄に記載し、直接携わった具体的な実務内容（展覧会の開催等）についてのみ記載すること。

（注） 用紙の大きさは、A4縦型（片面）とし、横書きで記載すること。1枚に記載しきれない場合は、適宜用紙を追加し左上をホチキス留めしてください。その場合は、必ず全てのページに氏名とページを記載してください。

(2) 申込先（問い合わせ先）

〒730-8511 広島市中区基町 10-52（広島県庁南館3階）
広島県 環境県民局 環境県民総務課 総務グループ
（電話）直通 082-513-2711

※ 申込は、郵送又は持参によってください。

郵送の場合は、封筒に「選考試験申込（学芸員）」と朱書し、簡易書留郵便で郵送してください。

- (3) 受験実施通知（受験票を兼ねる。）は、受付期間終了後、10月7日（金）頃に一括して郵送します。10月12日（水）までに到着しない時は、必ず上記（2）の申込先まで問い合わせてください。

4 試験の方法

区分	試験項目	問題形式	時間	配点	内 容
第1次試験	専門試験Ⅰ	記述式	2時間 30分	30	博物館学に関する専門知識
	専門試験Ⅱ			110	日本画（近・現代）に関する専門知識
	専門試験Ⅲ	記述式	1時間	30	業務遂行に必要な英語の語学力（辞書持込み可）※辞書は紙製のものとし、電子辞書等の電子機器、携帯電話の使用は不可
	アピールシート	記述式	45分	30	これまでの研究実績や実務経験等を通じて培った能力や成果、広島県立美術館の学芸員として働く意欲等に関する自己アピール（800字程度以上）
第2次試験	面接試験	個別面談	—	200	学芸員としての専門的知識・能力、県職員としてのコミュニケーション力・判断力等 ※2段階の個別面接を実施

- (注) 1 専門試験ⅠとⅡは同時に実施します。
 2 第2次試験は第1次試験合格者についてのみ行います。
 3 最終合格者は、第1次試験と第2次試験の成績を総合して決定します。ただし、各試験項目において一定の基準に達しない試験項目が一つでもある場合、他の試験項目の結果にかかわらず不合格となります。
 4 試験当日実施するすべての試験項目を受験した場合に限り有効に受験したものとします。

5 試験の期日、場所及び合格発表

区 分	期 日	場 所
第1次試験	平成28年10月16日（日） 午前9時から（受付開始 午前8時30分）	広島県立美術館3階 大会議室 （広島市中区上幟町2-22）
第1次試験 合格発表	平成28年10月28日（金）	（第1次試験受験者全員に可否を通知します。）
第2次試験	平成28年11月13日（日）	広島県立美術館3階 大会議室及び小会議室（広島市中区上幟町2-22）
最終合格発表	平成28年11月21日（月）	（第2次試験受験者全員に可否を通知します。）

- (注) 1 第1次試験の終了時間は午後3時頃を予定しています。
 2 試験会場及びその周辺への駐車はできません。
 （身体に障害がある等の理由により自家用車での来場を希望する場合は、必ず事前に環境県民総務課に連絡してください。）
 3 試験当日は、昼食を用意してください。（ゴミは持ち帰っていただきます。）

6 合格後の留意事項

- (1) 原則として平成29年1月1日以降に採用します。
 (2) 給与等は、各人の経歴によって異なりますが、平成28年4月1日現在で次のとおりです。
 《4年制大学新卒の場合》
 採用時の給与等…約213,600円
 《採用時の年齢が35歳で大学院修士課程修了後美術館における職務経験が11年の場合》
 採用時の給与等…約320,100円
 《採用時の年齢が50歳で大学院修士課程修了後美術館における職務経験が26年の場合》
 採用時の給与等…約366,200円
 ・ 学歴や経歴などにより増減されることがあります。
 ・ 上記の給与のほか、諸手当として、
 期末・勤勉手当（1年間に給料月額などの4.20月分）、
 扶養手当（配偶者13,000円、子等6,500円）、
 住居手当、通勤手当、時間外勤務手当等が支給されます。
 (3) 採用後は、「公権力の行使又は公の意思の形成への参画に携わる公務員となるためには日本国籍を必要とし、それ以外の公務員となるためには日本国籍を必要としない。」という公務員に関する基本原則に基づいた任用が行われます。

7 試験成績の通知

この採用試験を有効に受験して不合格となった場合は、試験成績を記載して通知します。

対象者	通知内容	通知方法
第1次試験 不合格者	第1次試験の総合得点、総合得点順位及び試験項目ごとの得点 ※試験項目ごとの得点は、専門試験Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ及びアピールシート試験の得点となります。	合格発表の際の 不合格者への本人 通知にあわせて お知らせしま す。
第2次試験 不合格者	第1次試験と第2次試験の総合得点、第1次試験の総合得点、第2次試験の総合得点、各総合得点順位及び試験項目ごとの得点	

8 アピールシートについて

- 第1次試験で実施するアピールシートでは、受験申込の際に提出していただいた「研究実績（発表を含む。）、調査歴、実務歴等に関する経歴書」（以下「経歴書」という。）に記載した内容を基に、あなたが広島県立美術館の学芸員として特に活かせると思うこと、またどのように活かしたいかということについて、できるだけ具体的に記入してください。
なお、試験時間中は、経歴書や資料等を閲覧することはできません。
- 経歴書はアピールシートの評価の際に参考資料として使用しますが、経歴の内容によりこの試験に有利（不利）になることはありません。
- アピールシートは、第2次試験の際も参考資料として使用します。

9 その他の注意事項

- 身体に障害があり、試験会場において配慮を必要とする場合は、申込の際に必ず広島県環境県民局環境県民総務課にご連絡ください。
- 申込書の記入内容に不明な点がある場合、広島県環境県民局環境県民総務課から電話又はメールにより問い合わせを行うことがあります。
- この受験案内は、広島県のホームページからもアクセスできます。
【広島県ホームページ】

<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/39/gakugeiin-boshu.html>

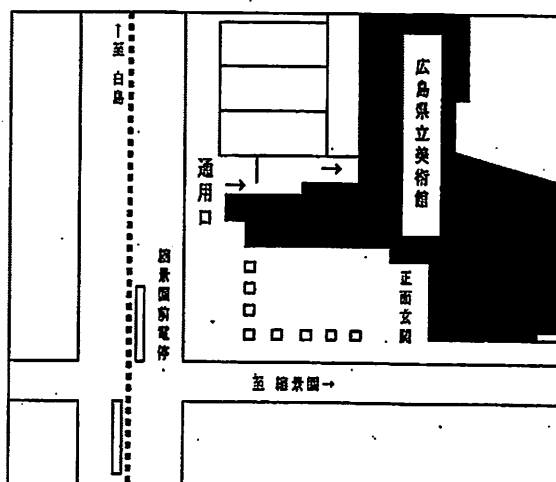
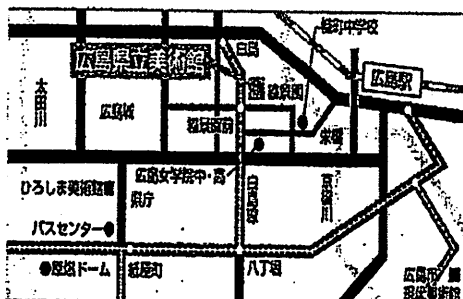
第1次試験会場案内

○ 広島県立美術館

（広島市中区上機町2-22）

※ 試験当日は美術館通用口からお入りください。

- 路面電車 縮景園前電停から徒歩約1分
- 広島バス 縮景園入口バス停から徒歩約1分
- 広島駅・新白島駅から徒歩約25分



女大第18—13号
平成28年9月8日

各大学(学部)長
各短期大学長 様
各関係諸機関長

群馬県立女子大学
学長 濱口富士雄
(公印省略)

教員の公募について(依頼)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本学では下記の要領で文学部国文学科教員(日本語教育学)を募集することになりました。つきましては、貴学(貴機関)関係者の方々にご周知くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

- 1 募集人員・職名 准教授または講師 1名
- 2 担当授業科目 日本語教育学概論、日本語教育学講義、日本語教育学演習及び教養教育科目2科目など、週5コマ程度。この他、大学院修士課程の授業を担当していただくこともあります。
- 3 応募資格
 - (1) 学歴 大学院修士課程修了、又はこれと同等以上の研究歴を持つ方
 - (2) 研究領域 日本語教育学を専門とする方で、日本語教員養成や地域日本語教育に積極的に関わることのできる方
 - (3) 研究業績 著書・論文等5点以上(修士論文を含む)で、過去3年以内に研究業績のある方
- 4 採用予定年月日 平成29年4月1日
- 5 応募書類
 - (1) 履歴書(所属学会等記載、写真貼付)
 - (2) 研究業績一覧(主要な各論文・著書などに要旨100字前後を付記すること)
 - (3) 主な研究論文または著書3点(コピー可)
(選考過程でさらに追加していただくこともあります)
 - (4) 社会貢献等活動状況表(過去3年間)
 - (5) 構想する教育内容・方法等(A4判1枚程度)
- 6 応募締切日 平成28年11月11日(金) 必着
- 7 応募書類提出先等 〒370-1193 群馬県佐波郡玉村町上之手1395-1
群馬県立女子大学 学長 濱口富士雄 宛
※応募書類一式は「書留」とし、封筒に「教員応募(日本語教育学)関係書類在中」と明記してください。
- 8 問い合わせ先 群馬県立女子大学事務局総務係
または、文学部国文学科 学科長 権田和士(ごんだかずひと)
電話: 0270-65-8511(代) e-mail: kokubunkobo@mail.gpwu.ac.jp
- 9 その他
 - (1) 選考の過程で面接および模擬授業をお願いする場合があります。その際は旅費等の支給はありませんのでご承知おきください。
 - (2) 応募書類等は原則として返却しません。著書等で特に返却を希望される方は「要返却」のラベルをそれらに添付し、宛先を明記し切手を貼付した返信用封筒を同封してください。
 - (3) 本学教員の定年は満65歳です。
- 10 本学のホームページは、<http://www.gpwu.ac.jp/>です。

JAPAN FOUNDATION



28TCE298

平成 28 年 9 月 27 日

関係大学学部長・研究科長 殿
関係機関の長 殿

独立行政法人国際交流基金

日本語試験センター

事務局長 村田 春文



拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃より当センターの活動に多大なご理解、ご協力を賜りましてありがとうございます。

さて、当センターにおきましては今般、同封の募集案内にて「任期付日本語能力試験研究員」の公募を行うこととなりました。

つきましては、お手数ですが、学内・機関内にて募集内容の周知・共有にご協力頂きますようお願いいたします。また、指定履歴書書式データを含めて、同内容は国際交流基金のホームページ（国際交流基金を知りたい＞採用情報）でも案内しております。

ご不明点等ございましたら、以下までご照会下さい。

日本語試験センター試験制作チーム 研究員公募担当

TEL: 03-5367-1021

メール: js_saiyo@jpf.go.jp

どうぞ宜しくお願い申し上げます。

敬具

独立行政法人国際交流基金日本語試験センター
任期付日本語能力試験研究員募集のご案内

【募集の目的】

独立行政法人国際交流基金(ジャパンファウンデーション)は、文化芸術交流、海外での日本語教育支援、日本研究・知的交流等の分野でさまざまな活動を行っております。

国際交流基金は、日本語事業の一環として1984年以来、公益財団法人日本国際教育支援協会と共催し、日本語を母語としない人を対象とした日本語能力試験(<http://www.jlpt.jp/>)を実施しています。2010年からは、課題遂行のための言語コミュニケーション能力を重視する新しい日本語能力試験を実施しており、全世界で60万人を超える人が受験しています。

今般、日本語能力試験の作成・分析、運営を行っている国際交流基金日本語試験センターの任期付日本語能力試験研究員を以下の通り募集します。

【募集内容】

1. 募集人数

「文字・語彙類」「文法類」「聴解類」それぞれ若干名

2. 身分

国際交流基金と業務委嘱契約を結び、任期付研究員として業務に従事します。

3. 業務内容

日本語能力試験の作題に関する業務及びその他付随業務

4. 主たる勤務地

場所: 国際交流基金日本語試験センター

 Access

住所: 東京都新宿区四谷4-3(東京メトロ丸の内線四谷三丁目より徒歩3分)

5. 待遇

- (1) 手当: 国際交流基金の規程に基づき、各人の学歴、経験等に従い基本手当、時間外手当、特別調整手当、扶養手当(該当する場合)、住居手当(該当する場合)、通勤手当、特別手当(賞与)を支給します。
- (2) 社会保険: 健康保険、雇用保険、厚生年金保険、労災保険に加入します。

6. 勤務条件

- (1) 勤務日: 原則として、月曜から金曜までの週5日勤務で、土曜、日曜、祝日を休日としますが、業務の都合上休日出勤を求める場合もあります(その場合は平日に振替休日取得)。
- (2) 休暇: 有給休暇制度有り(勤務開始月により調整あり)。
- (3) その他の勤務条件: 国際交流基金の定めるところに拠ります。

7. 委嘱予定期間

2017年4月1日～2018年3月31日(1年間)

※ 勤務開始日は応相談。契約期間は同開始日より1年間になります。

※ 任期中の勤務状況を評価の上、再委嘱することがあります。その場合でも最大5年を限度とします。

【応募資格】 次のいずれかに該当する者とします。

1. 大学又は大学院の日本語教育に関する課程の修了者
2. 大学、研究機関等で日本語教育の経験を有する者
3. 日本語能力測定等に関する専門性を有する者
4. 国際交流基金派遣専門家として1年以上の海外派遣又はこれに準ずる海外での日本語教育の経験を有する者

【説明会】

1. 日時及び会場

(1) 東京会場

・日時:11月2日(水)18:30～20:00(開場は18:00)

・会場:国際交流基金本部オフィス 2F ホール<http://www.jpf.go.jp/j/access/map.html>

(2) 京都会場

・日時:11月6日(日)14:30～16:00(開場は14:00)

・会場:kokoka 京都市国際交流会館特別会議室<http://www.kcif.or.jp/HP/rental/map/jp/access.html>

2. 内容(予定)

- (1) 国際交流基金の概要紹介
- (2) 日本語能力試験の概要紹介
- (3) 研究員業務の説明

3. 参加方法

氏名、参加希望会場(東京又は京都)を明記の上、js_saiyo@jpf.go.jp宛に各前日までに電子メールにて参加申込み下さい。

【応募方法】

1. 応募書類

(1) 日本語試験センター指定履歴書(写真貼付)

記入内容が多いなどの理由で書式がずれてしまう、枚数が多くなってしまうなどは構いませんが、記入項目については全て記載して下さい。

(2) 業績資料

履歴書に記した業績一覧の内、著書、論文、制作した教材等の現物又はコピー1点(学位論文は除く)を提出下さい。返却を希望する場合はその旨も明記して下さい。

(3) 志望動機書

2,000字以内(A4版用紙2枚以内、ワープロ打ち)で、次の点にも触れつつ志望理由を記して下さい。

✓ これまでの仕事の内容、専門、特に関心を持ってきたこと。

✓ 希望する類とその理由。また、希望類での問題作成において、自身のどのような能力、資質、経験が生

かせるか。

(4) 推薦状と通

推薦者と本人との関係を明記下さい。また、推薦状は推薦者自らが封筒に入れた上で厳封して下さい。

(5) 課題

【文字・語彙類】応募書類受領後、事前課題に取り組んでいただく場合があります。また、書類審査通過者に対し、第二次審査当日に問題作成に関する課題を実施します。

【文法類】応募書類受領後、事前課題に取り組んでいただく場合があります。また、書類審査通過者に対し、第二次審査当日に課題を実施します。

【聴解類】日本語能力試験聴解 N2「ポイント理解」のサンプル問題を A4 版用紙 1 枚で試作して、上記応募書類 (1) ～ (4) とともにお送りください。試作にあたっては、日本語能力試験ホームページ <http://jpt.jp/index.html> の「認定の目安」や「問題例」などを参考にしてください。（「ポイント理解」は問題例の「問題 2」に該当します。）また、書類審査通過者に対し、第二次審査当日に課題を実施します。

※ 提出書類は、(2) の返却希望と明記されたもの以外は返却しません。選考終了後は当方で責任を持って破棄いたします。

※ 第二次審査通過者には、上記に加えて、修了（卒業）証明書、健康診断書等の提出を求める場合があります。

2. 提出方法、提出先、提出期限

(1) 提出方法

「任期付研究員募書類在中」と朱書した封筒で、上記 1. 応募書類を以下 (2) 宛に郵送下さい。

(2) 提出先

〒160-0004 東京都新宿区四谷 4 丁目 3 番 四谷トーセイビル 8 階
国際交流基金 日本語試験センター 研究員採用担当係

(3) 提出期限

2016 年 11 月 18 日 (金) 必着

【選考方法】

1. 一次審査（書類審査）

選考結果を 12 月 6 日までに電子メールにて各応募者に通知します。

2. 二次審査

一次審査通過者に対して、12 月中旬に面接（上記課題に関する質疑応答含む場合あり）を実施します。選考結果は、審査終了後 1 週間以内を目処にメールにて通知します。

【問い合わせ先】

国際交流基金 日本語試験センター 任期付研究員採用担当

Tel : 03-5367-1021 / Fax : 03-5367-1025 /  E-mail js_saiyo@jpf.go.jp

以上



国際交流基金日本語試験センター任期付研究員 公募説明会のご案内（2017年4月採用分）

- ◆ 日本語能力試験JLPTは、日本語を母語としない人を対象とする世界最大規模の試験で、年2回実施されています。2015年には、世界68の国・地域で、65万人が受験しました。
- ◆ 受験生の日本語レベルを正確に測定するために不可欠となるのが、良質でハイスペックな試験問題。そうした作題業務を中心となって担当しているのが日本語試験センター研究員です。
- ◆ 学習インセンティブとして世界中で愛され続けているJLPTの問題作成や評価に携わることは、日本語学校などの教育現場とはまた違った、日本語教育の新たな醍醐味を味わえるはずです。
- ◆ 今般、研究員を新規募集するにあたり、その醍醐味の一端を直接感じて頂くべく、当センター研究員自身が作題のやりがいや苦労話を披露する公募説明会を開催します。ご関心のある方は是非ご参加下さい。

【説明会開催日程】

- ① 東京会場
 - ✓ 日時: 11月2日(水) 18:30～20:00(開場は18:00)
 - ✓ 会場: 国際交流基金本部オフィス2Fホール
<http://www.jpff.go.jp/j/access/map.html>
- ② 京都会場
 - ✓ 日時: 11月6日(日) 14:30～16:00(開場は14:00)
 - ✓ 会場: kokoka京都市国際交流会館特別会議室
<http://www.kcif.or.jp/HP/rental/map/jp/access.html>

※js_saiyo@jpff.go.jp宛メールにて前日までに参加申込み下さい。

【任期付研究員募集概要】

- ✓ 募集人数: 「文字・語彙類」「文法類」「聴解類」それぞれ若干名
- ✓ 待遇: 規程に基づき、基本手当、賞与等を支給。各種社会保険にも加入。
- ✓ 委嘱予定期間: 2017年4月1日から1年間。(但し、勤務状況に応じて、最長5年まで延長の可能性あり。)
- ✓ 応募締切: 11月18日(金) 必着

※詳細は国際交流基金ホームページ

<http://www.jpff.go.jp/j/about/recruit/index.html>を参照下さい。

各関係機関長 殿
各関係機関長 殿
関係各位

28 芸術音第 5-7 号
平成 28 年 9 月 26 日

東京芸術大学音楽学部長
迫 昭嘉
(公印省略)

音楽学部非常勤講師の公募について(依頼)

このたび本学では、下記の要領により音楽学部器楽科ピアノ専攻の非常勤講師を公募することと致しましたので、貴職関係者への周知方、よろしくお願い致します。

記

1. 募集人員：若干名
2. 専門分野：ピ ア ノ
3. 業務内容：副科ピアノレッスン及び試験採点
4. 業務に従事する場所：東京都台東区上野公園 12-8 東京芸術大学音楽学部（上野校地）
5. 業務時間：授業期間中の週 1 日 7 時間以内、他に副科ピアノ試験（7 月及び 2 月に各 1 日）
6. 委 嘱 料：本学規定による
7. 交 通 費：別途支給（本学規定による）
8. 委嘱期間：平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日
* 期間は双方合意の上、年度ごとに更新することが出来る 最長 5 年間
9. 応募資格：大学院修士課程修了あるいは同等以上の実力を有する者であること
10. 応募方法：下記の期日までに次の書類を郵送すること
 - ①履歴書（市販のもの）
 - ②音楽歴（書式自由）
 - ③志望動機（書式自由、800 字まで、自筆のこと）
11. 応募締切：平成 28 年 11 月 25 日（金）必着
12. 選考方法：書類選考後面接をする場合がある。（平成 29 年 1 月の予定）
13. 応募先：〒110-8714
東京都台東区上野公園 12-8
東京芸術大学音楽学部器楽科ピアノ教員室
（応募書類は簡易書留とし、表面に「ピアノ非常勤講師応募書類在中」と朱書のこと）
14. 問い合わせ先：東京芸術大学音楽学部器楽科ピアノ教員室
TEL 050-5525-2331
15. その他：①応募にかかる費用は全て応募者の負担とすること
②提出書類は委嘱関係のみに使用することとし、その他に使用することはない
③※提出書類等は全て返却しない。